

# 国分川調節池整備計画策定における住民参加について

前 研究第一部 主任研究員 椎名 真悟\*

## 1. はじめに

千葉県市川市に計画されている国分川調節池は、千葉県西部を流れる一級河川真間川支川の国分川、春木川の洪水調節を行う面積約24haの河川調節池である。国分川調節池では、平成12年度から14年度にかけて、住民参加による討議を実施し、水辺の自然環境の創出や良好な水辺景観の形成、人々が憩い・安らぐ場の創出等、調節池の多目的利用を図るための整備計画を策定した。

ここでは、国分川調節池整備計画策定における住民参加による意見の調整及び合意形成の取り組みを紹介する。

## 2. 住民参加による検討、合意形成の取り組み

国分川調節池整備計画の検討では、計画作成の前に「準備会」において、住民参加方法や検討体制を設定するとともに、市民団体を対象とする意向調査を実施した。

計画検討の段階においては、市川市民の希望者で構成される「考える会」により、具体的な計画案の作成を行うとともに、「検討委員会」で計画の決定（意志決定）を行った。さらに、計画については、一般市民の意見聴取（パブリックコメント）も実施した。

### ①国分川調節池整備計画検討準備会

「準備会」は、計画の作成を行うに当たって、客観性、公平性を確保しつつ、合意形成を図る手順を設定することを目的に、住民参加方法、検討体制の検討を行うために組織したものである。

### ②国分川調節池を考える会

「考える会」は、市民の参加希望者によるワークショップにより、住民の意見を十分に反映させた整備計画の具体的内容をまとめることを目的に組織したものである。

### ③国分川調節池整備計画検討委員会

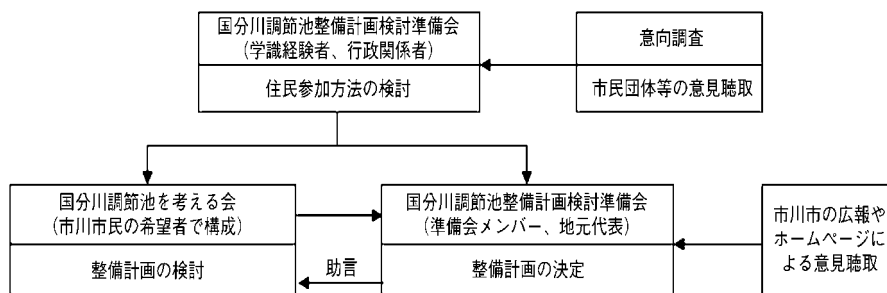
「検討委員会」は、「考える会」での検討に対しての助言を行うとともに、「考える会」でまとめられた計画案を審議し、最終的に計画決定（意志決定）を行うことを目的に組織したものである。

## 3. 取り組みの経緯

平成12年度から14年度にかけて、「準備会」を2回、「考える会」を8回、「検討委員会」を4回開催し、整備計画の策定を行った。特に、「考える会」では、当初の2回は参加者の共通認識を得るための意見交換、その後の2回で調節池整備の基本的方向を整理し、さらにその後の4回でテーマ、基本方針、ゾーニング、整備内容、活用・管理の内容からなる整備計画案を作成した。

## 4. おわりに

このように、整備計画の内容については、「考える会」でのワークショップによる検討を主体に進めてきたが、意見調整や合意形成に時間を要することなど問題点もまだまだ多い。このような住民参加の取り組みは、まだまだ手探りの状況で進めているのが実情であり、地域の認識も含め、今後の熟成が期待される分野と言える。



各段階における住民参加方法



「国分川調節池を考える会」の状況

※) 現 三井共同建設コンサルタント株式会社 東京事業本部